

第4回志免町総合計画審議会 議事要旨

1 日時

令和7年6月20日（金）10時00分～11時55分

2 場所

志免町役場 第2委員会室

3 出席者

【委員】

出席：宗像会長、澤田副会長、石橋委員、門谷委員、白水委員、田邊委員、野上委員、花田委員、牟田口委員、百田委員、吉岡委員

欠席：小出委員、小林委員、野中委員、福壽委員

【事務局】 経営企画課

【支援業務受託者】 有限責任監査法人トーマツ（石川・丸谷（記））

4 議事要旨

委員長あいさつ

- ・本日はお集まりいただきありがとうございます。
- ・主な協議事項は後期基本計画素案についてとなります。すでに資料に目を通していただいているかと思いますが、事務局より説明ののち、意見を願います。

（1）基本計画案の審議について

- ・基本計画案（資料1）について事務局より説明を行った。

【質疑応答】

◇基本目標1

●石橋委員

- ・人権の概念が判然としない。当たり前に生活できている人は普段考えることはないが、そうでない人のためにもっと掘り下げて考える必要があると思う。

○事務局

- ・町としては人権に関する取組を行い、啓発活動をしている。当たり前に生活できている人は普段考えることはないが、そうでない人のためにもっと掘り下げて考える必要があると思う。

●百田委員

- ・子どもに関わる仕事をしていて、子どもの権利が奪われている実態を見ている。人権の尊重という分野では町民ひとりひとりの人権を守っていくために実態を知ってほしいという思いがあり、もう少し深められたらよいと思う。子どもの人権について具体的に記載してもよいのではないか。

○事務局

- ・現行計画では子どもの権利が施策 1-1 の人権施策に位置づけられていたが、後期計画においては施策 2-5 の子育て施策の「1 切れ目のない支援環境の充実」の中に含めている。

- ・施策 2-5 の目指す姿では子どもの権利についても言及している。ただ、施策 1-1 で子どもの権利を取り扱わないというわけではなく、各施策で取組を進めていく。

●百田委員

- ・これまでの社会教育課の取組を見ていると、人権啓発の講演会でも子どものことについては全く触れられておらず、取組を明記していないといけないのではないか。

○事務局

- ・具体的取組についてのご意見は、社会教育課に共有して実際の取組に反映していく。

●門谷委員

- ・KPI に子どもの権利条例を知っている人の割合を目標にするのが良いのではないか。
- ・子どものみに焦点を当てるべきではないという観点はあるものの、あえて設定することが全体の人権意識向上につながると思う。町民の目に留まりやすい総合計画に記載があるといいのではないか。

○事務局

- ・KPI は町民意識調査の指標を活用している。子どもの権利条例の認知度も町民意識調査で調査しているが、子どもだけに焦点を当てる指標となってしまうため、KPI は全体の取組進捗を測る指標として設定し、子どもの権利条例については事務事業評価の中で進捗評価を行う。

●田邊委員

- ・地域活動に参加する子どもたちが減っており、地域コミュニティが不足している。公民館の利便性が低く、公民館に足を運ぶ人も減っている状況である。地域コミュニティの場についての記載があまりないが、どのように考えられているか。

○事務局

- ・施策 3 にすべての取組を網羅的には書けないが、地域コミュニティの衰退は全国的な傾向であるため、情報収集を行いながら時代に即した取組を行っている。具体的な取組についてはまだ確定していないが、地域活動が活発になるように支援していく予定である。

る。

●石橋委員

・施策 2-3 について、学力がついていけない子どもが登校拒否しているイメージだが、学力が問題ない子どもも登校拒否をしていると聞く。学力に問題がない子どもも通常登校ができるようにしてほしい。

○事務局

・担当課に意見を共有させていただく。

●門谷委員

・施策 4-1 の KPI の方向性が上昇となっているのに、目標値が現状値 81.9%より下の 80%以上となっているのは何故か。

○事務局

・過去 5 年の平均値が 70%台となっているため、80%以上としている。

●門谷委員

・説明があればわかるが、このままの表記だと見た人は同じ感想を抱くと思う。過去五年の平均値を注釈でいれるなど、明確な記載は必要かと思う。

○事務局

・令和 6 年度だけ数値が高くなってしまったものについては、近年の推移から「上昇」との意味で「上昇」と置いていたため、数字だけ見ると違和感がある部分があるのは事実である。表記の方法について検討する。

◇基本目標 2

●石橋委員

・母親から子どもがいながら、どう育てればよいかわからないという相談がある。近年は子どもを支配してしまう母親もいると聞き、時代は変化しつつあるため、家庭の状況にあわせて真剣に考えていかなければならないと思う。

○事務局

・担当課に意見を共有し、今後の施策に活用させていただく。

●門谷委員

・学童保育については施策 5 から外したと冒頭の説明であったが、他で補強しているのか。統合の経緯をもう一度説明してほしい。

○事務局

・今年度から学校教育課の管轄となった。文言には出てこないが、施策 6-2 でコミュニティスクールと連携した施策を推進していく予定である。

●澤田副会長

・KPI である小中学校の教育内容と環境に満足している町民の割合について、現状値が低いが、ICT の更新頻度の多さ、教員・子どものデジタル利用の格差など、複合的な課題があると思っており、1 つの取組にまとめていいのかという疑問がある。

・ICT 利活用方法を先生に教えても、子どもたちが使いこなせるかどうかはまた別問題であるため、環境整備と教育で分けた方がいいのではないかと考えがあれば聞きたい。

○事務局

・学校設備の強化について書いているが、実際機器を使う先生方の研修も一緒に行って、ハードとソフトの両面で強化していく方針である。

●牟田口委員

・補足だが、ICT に関する授業はほぼ毎日実施されている状況であり、タブレット活用率は R5 年度が 95%、R6 年度は 98.3%となっており、上がっている。

●百田委員

・ICT はできる子どもできない子どもがいるので、できない子どもに対しアナログでも対応できる人員が配置できていることが、多様性にも対応した環境の整備といえるのではないかと。

○事務局

・担当課に意見を共有し、今後の施策に活用させていただく。

●門谷委員

・KPI について、参加した子どもの割合が 73.5%と細かくなっているが、意識的な KPI の目標値は細かい必要はないのではないかと。

○事務局

・前期計画では現状維持を目指す目標値として 73.5%と設定していた。目標値を踏襲する意味で今回の設定を決めている。細かい数値も設定根拠があるが、指標の細かさの統一がされていない状況である。

●野上委員

・誌面に指標設定の根拠を記載すればよいのではないかと。

○事務局

・前期計画では KPI の設定根拠を巻末に載せていたので、今回も載せれるかどうかも含めて検討していく。

●石橋委員

- ・子どもの自殺率の高さが全国的に問題になっている。町としてはどのような対策を考えているのか。

○事務局

- ・悩みをもった子どもたちが学校や他の場所で相談することができ、適切な支援が受けられるよう、相談体制の充実や居場所づくりを中心に施策を展開していく。

◇基本目標 3

●宗像会長

- ・目標値に 75%と 75.0%と 2 種類の表記があるが、どちらかに統一した方がよいのではないか。

○事務局

- ・表記の統一を行う。

●牟田口委員

- ・施策 11 のみんなができること企業団体の記載がない。

○事務局

- ・修正する。

●野上委員

- ・関連する個別計画が記載されているが、上位計画が総合計画であり、取組の詳細は各課で作る個別計画に記載するという認識であるが、間違いないか。

○事務局

- ・総合計画はすべての分野を書くものであるので、各分野の細かい計画までは書けない。総合計画はあくまで網羅的に描くので、その下に各分野の計画があるという理解で相違ない。

●門谷委員

- ・施策 12 の KPI である国民健康保険税収納率について、志免町は全国平均と比べて低いために収納率向上を目指しているのかと思ったが、取組方針が KPI とつながっていない印象を受ける。なぜ低いのかなどについてもわかる範囲で伺いたい。

○事務局

- ・収納率については 90%を超えている。社会保障の健全な運営という目指す姿からの逆算で KPI を設定しており、志免町の収納率が低いとの認識はない。

●宗像会長

- ・施策 10 の KPI の障がい児・障がい者の相談件数は上昇で設定されているが、相談が

増えるということは困りごとが増える、という捉え方もできるのではないか。

○事務局

・まずは相談体制を強化するという取組方針があるように、些細なことでも余すことなく拾っていくという意味があつての指標設定となっている。

●野上委員

・障がい者の相談支援事業を行っているが、課題がなかなか表面に出てこないため、まずは相談窓口を充実させ、すそ野を広げることでできる支援を増やしていくという意識を持っている。

●牟田口委員

・学校教育でもそうだが、どんなに小さいことでも相談してもらおう方針で動いて解決している事例も多い。必ずしも相談件数＝困りごとの数ではないと考える。

◇基本目標 4

○異議なし

◇基本目標 5

●澤田副会長

・施策 16-5 の KPI について、オンデマンドバス 5 台で 5 万人を目指すということか。
・5 台体制では現実的でない数値に思えるが可能なのか。

○事務局

・オンデマンドバスが導入される前に運用されていた福祉巡回バスの乗車人数が 5 万人程度であったため、代わりになる公共交通という意味で同じ乗車人数を確保するという目標を設定している。

●澤田副会長

・他の KPI でも満足度の割合の場合が多いので、バス利用の満足度を KPI にしていく方が現実的に即しているのではないか。

○事務局

・総合計画にはまずは量的な増加を掲げているが、具体的な取組の中では利用者の満足度についても取組を推進していく。

●門谷委員

・よく町民から聞かれる声として、福岡空港など周辺まで運行してくれると便利だというものがあるが、近隣の自治体と連携した利便性の向上などは取組の中に組み込めないのか。

○事務局

・志免町は駅がない、西鉄バスに依存する状況を打開するためのオンデマンドバスであ

る。粕屋町や須恵町が運営しているバスとの連携も含めて全体最適を目指している。

●門谷委員

- ・今後検討していただきたい。

○事務局

- ・貴重な意見として共有させていただく。

●福壽委員（書面提出）

・保全のみでは緑は減少してしまうため、取組名称は「緑地の保全と創出」のほうがよいのではないか。取組方針の「緑化の推進に関する町内会、地域の意向確認、協力の要請をする」は取組方針としてやや消極的に感じる。近年、まちづくり GX などの都市における緑の重要性が高まっていることから、「優良な緑地については買取も含めた検討を行う」などの記載を行うことは可能か。

○事務局

・志免町は山などがなく緑が少ないため、創出が難しい。そのため保全という表現を使っている。

●福壽委員（書面提出）

・公園の満足度を KPI としているが、町の取組が「公園の整備」であれば、一人当たり公園面積などを KPI にしたほうがよいのではないか。

・近年、公園維持管理においてもソフト対策が重要視されており、例えば画一的に設定されているルール（ボール遊び禁止等）なども見直しを図ることで、ハード整備を行わなくても満足度を高めていく施策が可能かと思う。

○事務局

・志免町は一人当たりの公園面積は比較的多いため、より課題となっている利活用の点を向上させた方がよいという考えから、設定している。

・公園利用ルールの弾力化については、取組として行っているが、取組方針に載せるには粒度として細かいので計画には明記していない。

◇基本目標 6

●澤田副会長

- ・KPI のオンライン申請手続数は具体的に何の数値か？

○事務局

- ・マイナンバー関係のオンラインアプリから申請できる手続き全てとなる。

●門谷委員

- ・オンラインからの申請全てとなると、100 件は妥当な数値なのか。

○事務局

- ・申請一つ一つの数ではなく、オンライン申請ができる手続きの数が 100 件という意味になる。

- ・指標名をもっと伝わりやすいように修正する。

◇その他、全体を通して

●百田委員

- ・学童保育について、学童に入れない子どもが現状いるので、コミュニティスクールの記述に紛らせずしっかり明記してほしい。

○事務局

- ・コミュニティスクールにすぐにいれるわけではなく、同じ取組の分野の中で取組を進めていくという意味である。子育て支援課と学校教育課が連携しながら子育て支援としての学童保育を推進できるよう取り組んでいく。

●白水委員

- ・全体的な周知に関して、SNS の活用などあまり記載がなかったように思うが、SNS の運用は検討されているか。

○事務局

- ・現在、広報誌やホームページ、公式 LINE 等を活用しているが、他の SNS の手段もあると思うので、SNS を活用していない理由はすぐには回答できないが、意見を踏まえ担当課とともに検討したい。

●白水委員

- ・施策 22 の KPI に新しい SNS の開設や、投稿数などを設定するのはどうか。

○事務局

- ・施策としては発信だけでなく、情報が伝わったかを指標とするので、現在の KPI となっている。意見は担当課へ共有する。

●門谷委員

- ・普段町長がどのように考えていられるかわからない。福岡市長などは SNS などで発信していて考えが伝わりやすいがそういった方針はないのか。

○事務局

- ・総合計画も町の方針を示すものである。こういった審議会の場合に限らず、町民が情報を受け取れる場などを検討していきたい。

●花田委員

- ・施策 2 の指標ではスポーツ施設の満足度は高めであるが、個人的には満足していない。

- ・古賀市のリーパスプラザは利用しやすい。そういった施設があると満足度がもっと上がるし、子どもの運動向上に関わると思うので検討していただきたい。

○事務局

- ・KPI は今ある町の施設に関する満足度であり、町にない施設については担当課に意見を共有させていただく。

●門谷委員

- ・DX については記述があるが、AI について記載が一切ない。ここ 1 年で大きく発展したものであるのもので、計画に載せるのは難しいのかもしれないが、技術の活用には大きく貢献できるものと考えてるので、AI について記述があるだけで意識が変わると思う。

○事務局

- ・AI の利用環境整備は進んでいるが、利用方針も同時に整備しなければならない。AI に関してはどのような運用になるかわからないので、計画には載せず、個別の計画や取り組みにて組み込んでいきたい。

以上